



表紙のことば

二瀬多目的運動広場南の道沿いにきれいに咲きそろった菜の花を発見。新1年生になる園児たちに協力してもらい撮影しました。

真新しいランドセルを背負った子どもたちは、満面の笑顔を浮かべながら菜の花畑に一直線。きれいな菜の花に囲まれた姿は、まるでお姫様のような様子でした。

どうか、みんなの小学校生活が実りあるものになりますように。

市民の動き

人口 / 86,477人 (前月比+111人)

(外国人登録者4,083人含む)

男性 / 43,659人 (前月比+39人)

女性 / 42,818人 (前月比+72人)

世帯数 / 30,292世帯(前月比+68世帯)

平成20年3月1日現在

広報

ふくろい



袋井市の市章

2008年(平成20年)4月1日発行 第73号

編集・発行 / 袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係
〒437-8666

静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1
TEL 0538-43-2111(代表)

【ホームページ】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

【携帯サイト】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>

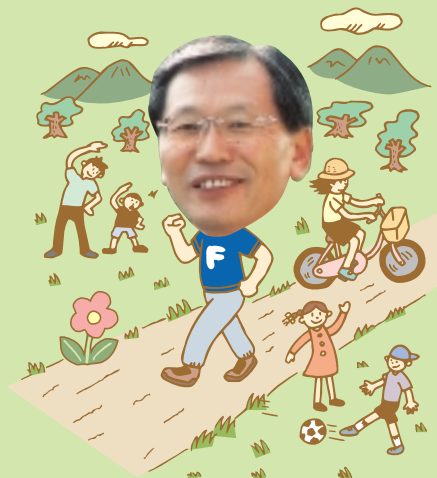
【Eメール】

hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

原田市長の

さんぽみち

散歩道



3月、4月は卒業式や入学式の時期で、別れに涙があり、出会いに不安や期待がある。とりわけ、私にとっては中学時代への思いは深い。

2クラスしかない袋井東小から9クラスの袋井中に入った時、まず人数の多さに圧倒された。袋井南小や袋井西小から来た生徒が都会風に思え、袋井北地区や今井地区、田原地区からの生徒に同じ田舎者の親近感を持った。片思いの初恋や熱心だった生徒会活動を経ての卒業式では、友達と別れることへの寂しさをひととき強く感じた。今と異なっ、クラスの半数が進学、半数が就職の時代だったので、同じ顔ぶれが再び一同に会することの難しさをそれぞれが肌で感じていたにちがいない。

今の中学生が何を考え、市に何を求めているのかを知りたくて、今年になってから市内の4中学校を訪問した。それぞれの学校で、20人くらいの代表を選んでくれて、体育館や図書室などで私との話し合いの場をつくってくれた。

「中学時代」

グラウンドの夜間照明や通学路の整備など具体的なことや国、市の予算全般についても話し合った。なぜ市長になったのか、家族をどう思うのかなどの質問には、今までの生き方を振り返りながら、自分の気持ちそのままに答えた。私からは、テレビを見ない生徒や漫画を毎日読む生徒にその理由を聞いた。

中学を卒業して、50年が過ぎ、今の中学生とは環境が違いすぎて、比較しにくい面もあるが、変わらないものもあった。学力テストによって競争心が養われたり、恵まれた環境の部活の人たちに嫉妬心を覚えたり、心から理解してくれる友ができたことなど、この中学時代に培われたものが、後の人生に大きな影響を与えているものと思う。

何事も純粹に取り入れようと、目を輝かせて話してくれた彼ら中学生のためにも、今の時代をリードしている私たちは、精一杯頑張つて、彼らの将来に不安を残さない、明るい社会を築く責務があると思う。